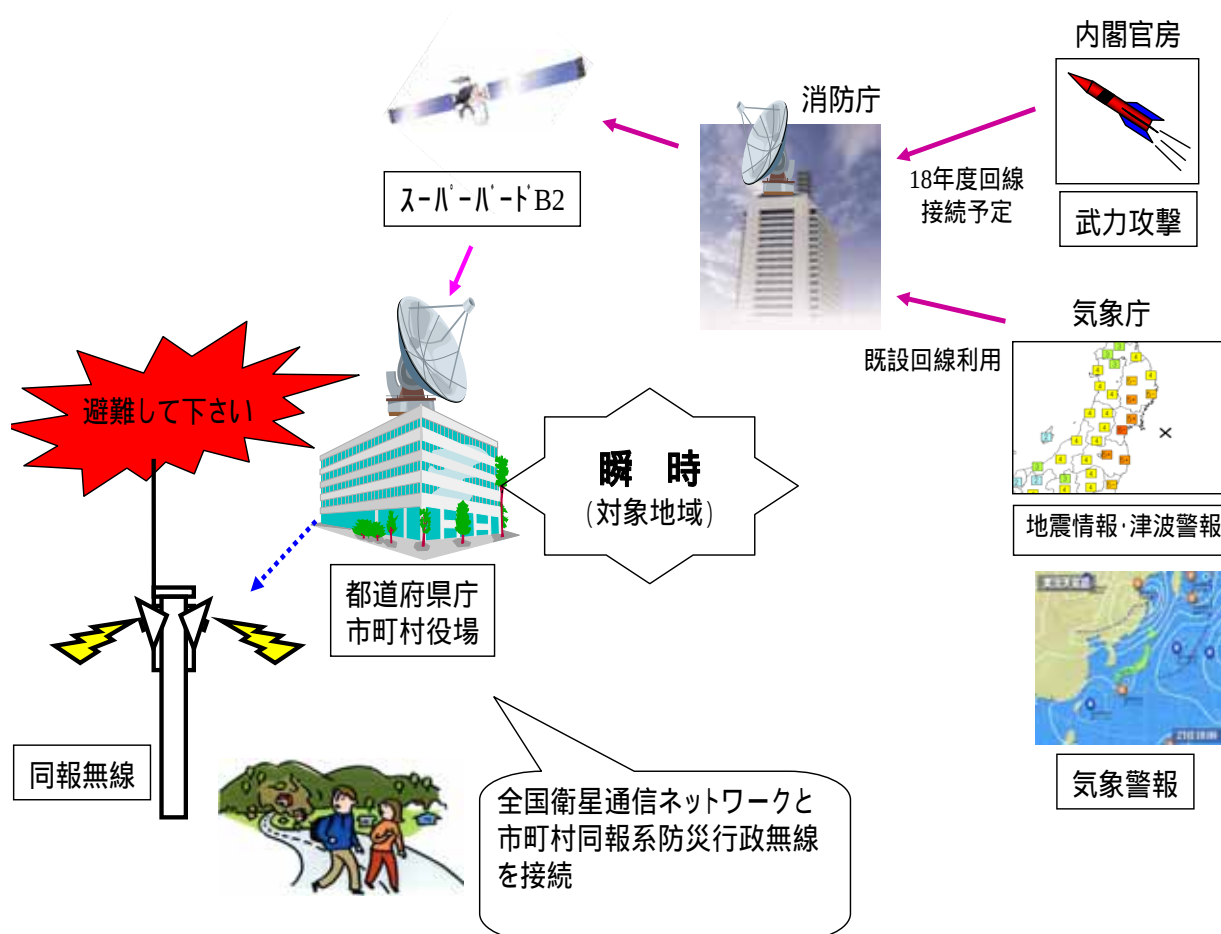


全国瞬時警報システム（J-Alert）について



システム概要

- 全国瞬時警報システム(J-ALERT)は、気象庁から送信される気象関係情報や、内閣官房から送信される有事関係情報を、人工衛星を利用して地方公共団体に送信し、市町村の同報系防災行政無線を自動起動するシステム。
- 消防庁からは、情報番号、対象地域コード情報等を送信し、全地方団体が受信する。
- 地域コードに該当する地方団体のみにおいて、情報番号に対応する、予め録音された放送内容の自動放送を行う。

J-Alert に関するこれまでの経緯について

16年

11月 高知県芸西村で住民参加実証を実験

17年

7月6日 武力攻撃事態等における警報のサイレン音を内閣官房が決定し地方へ通知

9月27日 中央防災会議(総理・全閣僚等)にて J-Alert の説明及び啓発ビデオを放映

18年

1月10日～3月7日

全国瞬時警報システム実証実験
(15都道府県、16市町村において実施中)

3月中 J - A L E R T 受信設備の標準仕様を公開予定

J－A L E R Tにより送信する情報（案）

①から⑥の情報については、基本的に、国が第一報を覚知すると考えられること、極めて短時間での瞬時情報伝達と住民避難が必要となること、災害が発生した場合大きな被害が予測されることから、他の手段による伝達に加え、対象となる全地方公共団体において、原則として J-Alert による瞬時情報伝達も行うこととし、地方公共団体もそのような運用を行う方向で、検討を進めている。

- ① 大津波警報
- ② 津波警報
- ③ 緊急火山情報
- ④ 緊急地震速報（予測震度 5 弱以上）
- ⑤ 弾道ミサイル攻撃
- ⑥ 航空機攻撃
- ⑦ ゲリラ・特殊部隊攻撃
- ⑧ 大規模テロ
- ⑨ 津波注意報
- ⑩ 震度速報
- ⑪ 気象警報
- ⑫ 指定河川洪水予報
- ⑬ その他、土砂災害警戒情報、東海地震予知情報、臨時火山情報

J-ALERTによる放送例

1 気象等に関する情報の通報(例。全パターンを音声で提供)

使用場面	警報音	音声放送
緊急地震速報	(例1)キュンキュン (例2)サイレン (例3)ピンポン	(例1)大地震(おおじしん)です。 (例2)大地震(おおじしん)が来ます。
緊急地震速報 (キャンセル報)		先ほどの地震速報は誤報です。
大津波警報	サイレン 3秒吹鳴、 2秒休止×3回	大津波警報が発表されました。 海岸付近の方は高台に避難して下さい。
津波警報	サイレン 5秒吹鳴、 6秒休止×2回	津波警報が発表されました。 海岸付近の方は高台に避難して下さい。
津波注意報	なし	津波注意報が発表されました。 海岸付近の方は注意して下さい。
震度速報	なし	震度〇の地震が発生しました。 火の始末をして下さい。 テレビ・ラジオをつけ、落ち着いて行動して下さい。
気象警報等	なし	当地域に△△警報が出ました。今後の気象情報に 注意して下さい。

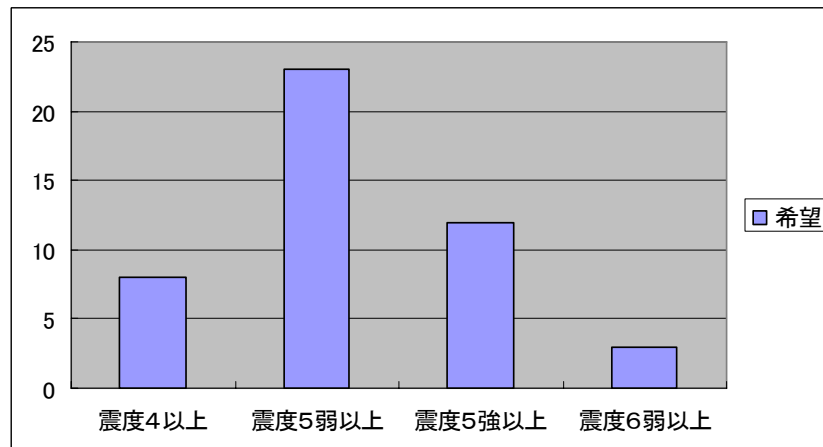
2 武力攻撃等に関する情報の通報(標準形。全パターンを音声で提供)

弾道ミサイル攻撃	有事サイレン 14秒吹鳴	ミサイル発射情報。ミサイル発射情報。 当地域に着弾する可能性があります。 屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください。
航空攻撃	有事サイレン 14秒吹鳴	航空攻撃情報。航空攻撃情報。 当地域に航空攻撃の可能性あります。 屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください。
ゲリラ等による攻撃	有事サイレン 14秒吹鳴	ゲリラ攻撃情報。ゲリラ攻撃情報。 当地域にゲリラ攻撃の可能性あります。 屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください。
大規模テロ	有事サイレン 14秒吹鳴	大規模テロ情報。大規模テロ情報。 当地域にテロの危険が及ぶ可能性があります。 屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください。

都道府県・市町村担当者アンケート結果

(41 都道府県 9 市町村から回答)

○J-ALERT を利用して、どの予測震度から同報無線を自動起動するか。



→ 都道府県・市町村担当者からは、当該市町村が予測震度 5 弱以上の地域に該当する場合に同報無線を自動起動することが適当だという意見が多数を占めた。しかし、必ずしも一律に震度 5 弱を基準としているわけではなく、自動起動希望震度にはばらつきが見られる。

(主な意見)

- ・ 誤報があった場合、漁業者等の活動に支障をきたし、損害賠償を請求されたケースもあるため、システムで誤報のないよう配慮願いたい。
- ・ 緊急地震速報から地震発生までの間に、現実何ができるのか、また、パニックにならないのかという心配はあるが、今後、訓練等を重ね速報により少しでも被害を少なくすることが可能と考える。

J-ALERT実証実験結果まとめ(同報無線緑目 動転起動所要時間・自然災害情報)

No	自治体名称	実験日時	観測無線機の種類 【アナログ・デジタル】	呼出セレクト方式の種類 【アナログ・デジタル・両方】	屋外基地局の概 【アナログ・デジタル・両方】	戸別受信機の種類 【アナログ・デジタル・両方】	市町村合併に 伴う区画 【有・無】	実験実施時 機優先	中継局数	同報無線 自動起動 所要時間合計 (秒)	送受信・自動 起動装置利便 に要する時間 (秒)	自動起動に 要する時間 (秒)
1	東京都 豊島区	1/10～1/11	アナログ	デジタルセレクト	デジタル:77	デジタル:500	無	親卓	無	4.2	1.1	31
2	埼玉県 さいたま市	1/12～1/13	アナログ	アナログ→現在	アナログ:96	アナログ:336 (デジタル:100台準備中)	無	親卓	有(制御無):1	7.2	1.3	59
3	北海道 上川支庁 紋別市	1/16～1/18	アナログ	実験は現在、 実験はデジタルのみ	デジタル:12 アナログ:13	デジタル:2041 アナログ:2000	無	親卓	無	7.3	1.6	5.7
4	埼玉県 日高市	1/19～1/20	アナログ	デジタルセレクト	デジタル:67	162	無	親卓	無	7.1	1.4	5.7
5	静岡県 川勝郡 森町	1/23～1/24	アナログ	現在	アナログ:72	デジタル:900	無	親卓	無	8.1	1.2	6.9
6	長野県 飯田市	1/26～1/27	アナログ	現在	アナログ:230 デジタル:11	無(但し親局も1台)	無	親卓	無	12.0	1.1	10.9
7	静岡県 吉田町	1/30～1/31	アナログ	現在	アナログ:39	30	無	親卓	無	12.3	1.5	10.8
8	千葉県 富津市	2/2～2/3	デジタル	デジタルセレクト	デジタル:27	デジタル:1,930	無	親卓	有:1	20.0	1.2	18.8
9	福岡県 朝倉市	2/6～2/7	アナログ	デジタルセレクト	デジタル:27	デジタル:1,930	無	親卓	有:1	9.7	1.3	8.4
10	愛知県 豊田市	2/8～2/10	アナログ	デジタルセレクト	デジタル:50	デジタル:200～300	無	親卓	無	8.2	1.2	7.0
11	愛知県 春日井市	2/8～2/10	アナログ	デジタルセレクト	デジタル:32	デジタル:3,000	無	速隔制御器	有:1	10.3	1.1	9.2
12	愛知県 春日井市	2/8～2/10	アナログ	デジタルセレクト	デジタル:81	デジタル:1	無	速隔制御器	無	7.7	1.1	6.6
13	愛知県 春日井市	2/13～2/14	デジタル	デジタルセレクト	デジタル:31	デジタル:100	無	親卓	無	16.0	1.3	14.7
14	愛知県 春日井市	2/16～2/17	アナログ	デジタルセレクト	デジタル:12	デジタル:約3650	有	統合卓	無	21.6	0.8	20.8
15	愛知県 春日井市	2/20～2/21	アナログ	デジタルセレクト	デジタル:20	デジタル:557	無	速隔制御器	2	14.6	1.2	13.4
16	愛知県 春日井市	2/22～2/24	アナログ	デジタルセレクト	デジタル:16	デジタル:約4270	無	親卓	有(制御無) 簡易:1	7.8	1.6	6.2
17	愛知県 春日井市	2/27～2/28	アナログ	デジタルセレクト	デジタル:58	デジタル:1	無	親卓	無	4.6	1.5	3.1
18	愛知県 春日井市	3/1～3/2	アナログ	デジタルセレクト	デジタル:17	デジタル:268	無	親卓	有(制御有) 中継:1・簡易:2	4.1	1.1	3.0

※(注)国民生活保護情報の場合、ファイル数の相違のため、送受信・自動起動装置制御に要する時間31～2秒長い。